

## 会社は「イベント日の作業内容については、現場に説明し、徹底している」と嘘ぶく！

分会情報「雄叫び第141号」で明らかにした通り、名古屋車両所において「新幹線のお仕事を学ぼう」と題したイベントが10月3日に開催され、続いて10月24日、11月14日、21日に開催されようとしています。

会社からは、イベント開催に伴う当日の保守班日勤者に対して、作業ダイヤ、作業内容変更等の説明が一切ありませんでした。現在も、何ら説明もありません。

A社員が現場管理者に「今日の保守班日勤の作業を説明して欲しい」と質問したことによってはじめて、イベントの関係社員から簡単に説明（ホワイトボード）を受けました。しかし、地方本部と関西支社間の内容では、「すでに、イベント日の作業内容を関係者に説明し徹底している」と回答しています。確かに、10月3日以前から整備会社CMCには作業内容が周知徹底されていたようです。（CMCの社員から作業内容が変更になり、いろいろと愚痴が出ているようですが・・・）

会社は、『安全綱領』の中で「確認の励行と連絡の徹底は安全の確保に最も大切である」や「命を守るルール」を現場社員に一方的に押し付けています。この「安全綱領」や「命を守るルール」のルールを守らず、安全を脅かして、見学者、社員を危険な目に晒そうとしているのは会社の方です。

現場のみなさん！！

10月24日以降のイベント日の作業内容変更を現場管理者から説明を受けていますか？  
現場管理者から、現場詰所等にイベント日の作業内容変更が掲示されていますか？  
（整備会社CMCから一部を噂話として聞いている社員もいるようですが）

## 早急に、会社はイベント日の保守班日勤者に作業ダイヤ・作業内容を説明するべきである！

関西支社は、A社員の「たとえば、混み合ったデッキでイベント客と接触したり、ドア扱いでドアに挟んだりさせる恐れなどのトラブルを発生させないためにも、確実な作業ダイヤ、作業内容を説明して欲しい」という要望に対して、「当日にお客様の怪我等のトラブルは聞いていない」、「検修日報には、イベントありと確かに書いてあった。それだけではなく周知されている」、「ドア扱いで、具体的にトラブル等が何番線の何号車ドアだったか」と問題の視点をすり替えて、あたかも10月3日の保守班日勤者が、トラブルを発生させたかのような内容を組合側に回答してきています。

本来ならば、イベント当日のA社員が管理者に説明を要求する前に、10月3日、24日、11月14日、21日の保守班日勤者を集めて事前の説明会を開催して周知徹底するべきではないでしょうか。